

2024 年度 認定こども園せんにしの丘学校評価

2025 年 3 月 24 日

■ 園の概要

当園は、千田・御幸学区地域の強い要望により 1977 (昭和 52) 年定員 120 名千田西保育所を御幸町に開設した。地域のニーズに応えるべく乳児保育、延長保育、一時保育、休日保育、学童保育、健康支援、そして在宅で子育てをされる家庭への支援など様々な事業を展開して来た経緯がある。2006 年に園舎の全面改築を行い、更に園児の増加に伴いよりよい環境を目指して 2011 年には幼児棟も増設した。

現在は子ども子育て新制度により、2016 (平成 28) 年度には幼保連携型認定こども園、「せんにしの丘」として、利用定員 1 号認定 15 名を含めた 265 名、0 歳児から 5 歳児 300 名の教育・保育を行っている。

■ 本園における園評価のねらい

認定こども園に移行して 8 年目となり、毎年園内部での評価をしながら改善に向けて取り組んでいる。より一層の充実や発展を計り、園評価を実施している。教育・保育内容や運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、こども園として組織的・継続的な改善を図る。

■ 2024 年度認定こども園せんにしの丘自己評価

2024 年 9 月 2 日 (全職員)

職員が評価シートをもとに、自分を振り返りながら自己評価を行った。

2024 年 12 月 10 日～12 月 17 日

「人権擁護のためのセルフチェック」を職員が各自でチェックし、クラスで振り返りを行った。

2025 年 2 月 10 日

第 3 者評価のサービス編を職員が評価シートをもとに自己評価した。

2025 年 3 月 7 日～3 月 17 日実施

学校評価アンケート (全保護者) ※キッズビューのアンケート機能を使用

2025 年 3 月 6 日

一年間の反省・評価 (職員)

■ 社会福祉法人の理念

愛は生命である

愛のあるところに生命が育まれるという信念で、命が尊ばれ、「個」が「共」に育つ保育を目指し、福祉の視点を忘れず、惜しみない愛ある保育を目指します。

■ 福祉の基本方針

わたしたちは
笑顔で子どもたちを迎えます。
成長と安全を家庭と見守ります。
個性を尊重して平等に接します。
生きる力が育つ環境を創ります。
円滑な就学に向け連携をします。
親子が共に育つ支援を考えます。
持てる力で地域に貢献します。

■ 教育・保育目標

たくましい体と辛抱強い心を養う
節度ある生活習慣を身につける
思いやりのある美しい心を育てる
何事にも興味や関心をもつ
親しみをもって日常の挨拶をする
緑に囲まれた太陽の輝く下で、乳幼児が秘める豊かで大きな可能性を、自らの力でのびのびと引き出せるように、時にやさしく時に厳しく援助し、すばらしい未来を創る人間性の基礎を培う教育・保育をします。

■ 具体的目標・計画

① 教育課程・指導

- ・ 全体的な計画・教育課程や年間指導計画、月案、週案、日案を作成することで、目標を明確にして共有し、子どもの実態に合わせた教育・保育をすすめている。
- ・ 週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。
- ・ 早朝保育担当から延長保育担当まで、子ども一人ひとりの健康状態や伝達事項の申し送りを行い、保育がつながるように努めている。

② 保健管理について

- ・ 内科健診、歯科検診、尿検査などの定期健診で園児の健康を把握するとともに、必要に応じて受診を勧める。
- ・ 園児の登園時の視診や保育中の様子に常に目を配り、日常と変わりがないか観察するとともに、異常があった時は、保護者に連絡を取り受診をすすめる。
- ・ 感染症が出た際は、保護者に啓発するとともに、手指の消毒や保育室の消毒を徹底し、感染拡大を防ぐ。
- ・ 毎年 1 度、薬剤師による水質や照度、空気など、環境の検査を行っている。

③ 安全管理について

- ・ 毎月交通安全指導、避難安全訓練を行っている。
- ・ 登降園時の送迎車や歩行者の誘導 をするとともに、登降園の際の安全確保の啓発
- ・ 電子錠による施錠
- ・ 業者による定期的な A E D の電池残量確認。

④ 組織運営について

- ・ 衛生委員会やリーダー会など、月に 1 回または必要に合わせて開催している。
- ・ 月に一度所内人権研修を持ち、クラスの取り組みや園行事について話し合い、意識統一を図る。
- ・ 毎日、午睡時に昼礼をもち、各クラスや園全体の情報共有を行う。
- ・ 年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの確認をし、個人情報の 取り扱い方や、守秘義務についても周知する。年度の途中での採用があった場合も徹底できるようにする。
- ・ 各クラスのリーダーに相談・報告をする体制づくりをしている。

⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・ 資質向上のため、様々な園外研修に参加する。
- ・ 園内研修に関してはシフト制の勤務体制ということもあり、全職員が集まることが難しいため、シフトや時間等を工夫し、複数回開催するなどの工夫をしながら、全職員が同じ意識を持っていけるようにしている。

⑥ 情報提供

- ・ 毎日の活動の様子を文章や写真で掲示し、毎日保護者に情報提供している。
- ・ 園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供 している。
- ・ H P を通して園内の情報を提供している。
- ・ 園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知している。

⑦ 保護者・地域住民との連携

- ・ 保護者会役員会を中心に、行事を計画したり懇談会を行うなど、保護者との連携をとっている。
- ・ 参観日を利用しての参観や教諭同士の連携、子どもの交流など、小学校との連携を とっている。
- ・ 千田学区の行事に子どもが参加することにより、保護者も一緒に参加し、地域の行事を知る機会になっている。
- ・ 千田学区まちづくり推進委員会の一員として活動している。

⑧ 子育て支援

- ・ 曜日毎に年齢別のサークルや地域の公園でのおでかけ保育を行っている。
- ・ フジグランやゆめタウン福山にて、おでかけ保育を行っている。
- ・ 相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」を行っている。
- ・ ゆめタウン福山内の「いくたす」にて、子育て相談や一時預かりを行っている。

⑨ 預かり保育

- ・ 就労の有無に関わらず、1号認定児童対象の幼稚園型一時預かり保育を 19:00 まで行っている。

⑩ 教育環境整備

- ・ 園庭や園舎、遊具など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。
- ・ 修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告し、その後、必要があれば業者を呼び対応している。
- ・ 季節ごとに花壇の花を整備し、身近で自然に触れ、季節を感じられる環境づくりをする。

■教育目標の達成、学年の年間目標に対する評価

○教育・保育目標

保育目標	評 価
たくましい体と辛抱強い心を養う	リズム遊びやサーキット遊び、園外散歩、4・5歳児はたいそう指導やスイミングなどにも取り組み、体力づくりをしている。体のバランスや動かし方は、小さい時からの積み重ねが大切になるため、個人差に配慮しながら、体を使った様々な活動を、年齢に合わせて取り組んでいる。様々な活動の中で、初めてのことや難しいと思うことでも、継続的に意欲的に取り組めるよう、できているところをしっかりと認め、励ましたり寄り添ったりなどの関わりを大切にしている。友だちと一緒にひとつのことに取り組んだり最後までやり遂げる経験を通して、達成感を味わうことができている。
節度ある生活習慣を身につける	日々の生活の中で、それぞれの年齢に合わせて身の回りの生活習慣について知らせ、一緒に取り組んでいくことで、生活の流れをおぼえたり、基本的な生活習慣が身についていく。個人差にあわせて、一つひとつのことを丁寧に繰り返し知らせ、そばで見守り励ましたり、一緒にして出来たことを一緒に喜んだりする中で、意欲的な姿を認めながら次への意欲や自信につながるよう関わっている。毎日のおたよりや懇談などで関わり方のポイントなどを保護者に啓発していくとともに、子どもの成長をしっかりと認め保護者の方と共に喜びあひながら、家庭とともに取り組んでいる。
思いやりのある美しい心を育てる	友だちとの関わりの中で、自分とは違う相手の思いに気づけるよう、保育者が仲立ちになりながら繰り返し知らせている。遊びの中で、泣いている友だちを気にかけて、知らせしてくれる姿も多くみられ、相手を思う気持ちが育っている。一人ひとりのよいところを認め、それぞれが頑張っている姿を保育者が認めることで、友だち同士で認め合ったり励ましあったりする姿がみられる。子どもの内面を理解しながら保育を行っていくとともに、保育者自身が子どもに寄り添い、思いやりのある言葉や態度を大切にしていく。
何事にも興味や関心をもつ	子どもたちが何に興味・関心を持っているのかを常に考えながら、活動や環境の中に取り入れるように心がけた。保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、「たのしかった」「またやりたい」という気持ちももてるよう、その気持ちがさらに他のことへの興味や意欲につながるよう園ならではの多様な経験ができるようにした。個人によって興味・関心も違うため、一人ひとりにあわせた関わりも大切にしながら、子どもたちの発見や気づきに共感し取り上げることで、興味・関心が更に広がっていく。保育者主導になってしまわないよう配慮しながら、子どもたちが様々な場面で主体的に活動できるよう、保育者が大切な環境として子どもたちとの関わりを大切にする。
親しみをもって日常の挨拶をする	基本的な生活リズムを繰り返す中で、生活の中のいろいろな場面に応じた挨拶や返事を知り、すすんでできるようになってきている。友だち同士でも、「おはよう」や「さようなら」のあいさつを親しみをもってすすんでしている姿がみられる。まずは保育者が進んで身の回りの挨拶をしていくとともに、地域の方や来園者にも、気持ちのいい挨拶をする姿をみせていくなかで、子どもたちが自分から進んで挨拶ができるようにしていく。周りで関わっている様々な人の存在に気づき、人に対する感謝の気持ちを伝えることも大切に伝えていきたい。

○学 年 の 年 間 目 標

	年間目標	評価
0歳児	☆安全で衛生的な環境を整え、生理的欲求が満たされるようにする。 ☆保育者とのあたたかいふれあいのなかで、安心して過ごせるようにする。 ○ひとりひとりにあわせて生活リズムを整えながら、基本的な生活習慣を知らせていく。 ○自然物や玩具、身近な生活用具など、いろいろなものを見たり触ったりして積極的に興味を持ち、意欲的に探索活動をする。 ○保育者との信頼関係を土台にして、情緒の安定を図り、人やもののかかわりを広げていく。	月齢に合わせて2～3クラスに分かれ、月齢に合わせた生活や活動を大切に、日々の保育をすすめることができた。一人ひとりの健康状態を把握し、室内環境や衣服の調節など考慮しながら過ごしやすい環境を作るよう心掛けた。特定の保育者が関わることによって信頼関係を築き、子どもたちの欲求を受け止めながら安心して過ごせるように配慮する中で、月齢にあわせた遊びを取り入れ、様々な物に興味関心をもって遊んだり季節を感じる事ができた。途中入園が多く、子どもや保護者との信頼関係づくりと常に安心安全に過ごせる環境作りをしていく。
1歳児	☆簡単な身の回りのことが“自分でできた”という喜びが感じられるよう、保育者がさりげなく援助する。 ○保育者の援助を受けながら、基本的な生活習慣を身につけていく。 ○保育者、友だちの模倣をしたり、食事・着脱・排泄など身のまわりのことを自分でしようとする気持ちをもつ。 ○いろいろな経験を通して、好奇心や興味・関心をもたせ、十分探索活動ができるようにする。	高月齢と低月齢で別れて活動することで、子どもたちの成長に合わせて無理なく活動することができた。身の回りのことを自分でやろうとしている時にはできるだけ見守り、自分でできたという喜びにつながるような援助を心掛けた。また、気持ちが向かない時には少し待ってみることで、自分から主体的に動けるように関わり、さりげなく援助することで、できることがふえてきた。季節に合わせて園外の活動も取り入れ、子どもたちの好奇心を大切にしながら探索活動を経験することができた。
2歳児	☆安定したかかわりの中で、やりたいことや自分の気持ちが十分表現できるようにする。 ○自分でやろうとする気持ちをよく、生活に必要な身の回りのこと（食事・排泄・着脱・睡眠など）が少しずつできるようにする。 ○いろいろな活動を通して保育者や友だちとかかわり、一緒にあそぶ楽しさを味わう。 ○身体を使ったあそびや表現することを楽しむ。	高月齢と低月齢に分かれて活動する中で、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら子どもたちの思いを受けとめ、安心して過ごせるよう心がけた。身の回りのことを「自分でしたい」という気持ちを大切に、一人ひとりの個人差に配慮しながら関わる中で、できるようになったことを一緒に喜び、すすんでしようとする気持ちができてきている。子どもたちの興味や関心を大切にしながら、発達段階にあわせて遊びを工夫する中で、保育者と一緒に遊びを楽しみ、友だちと会話などのやりとりをしたり関りを広げて楽しんでいる。
3歳児	☆保育者との信頼関係のもと、集団生活の心地良さを感じる。 ☆身の周りのことができるようになったことを喜び、すすんで行う。 ○友だちとかかわりの中で、相手の気持ちに気づきながら、一緒にあそぶ楽しさを味わう。 ○さまざまな活動を通して、興味や関心を広げ、さらに意欲を持って生活しようとする。 ○自分の思いを言葉やいろいろな表現で伝える。	食事のマナーや衣服の着脱、身の回りの整理整頓など、自分でできるよう声をかけ励ましていくことで、意欲的に進んでする姿が多くなり、できることを喜ぶ姿が増えた。英語指導やメロディオン、日本太鼓などの新しい活動もあったが、興味をもって参加することができ、できるようになることを自信にしながら意欲的に取り組むことができた。自分の思いを言葉で伝えられるように表現の仕方を伝えたり、一緒に言うことで、自分なりの表現で伝えようとする姿が増えた。

4 歳 児	☆安心感をもって過ごす中で、自己肯定感を育み、可能性を十分に発揮できるようにする。 ○園の生活に慣れ、見通しを持って活動をする。 ○自分の思いだけでなく、相手の思いを受けとめ考えていけるようになり集団で行動することを楽しむ。 ○生活やあそびを通して達成感を味わい、自信を持って行動する。 ○話を聞く力を身に付ける。	園舎が変わり、新しい生活リズムや約束事については、繰り返しの中で徐々に身につけてきている。身の回りのことを自分でしようとし、時間を知らせることで見通しをもって行動できるようになっている。友だちとの関わりの中でも、保育者の仲立ちのもと、自分の思いを伝えられるようになってきている。集団での活動が多い中、話を聞いて理解して行動できるように、一人ひとりの姿にあわせて、個別に声をかけたりすることで気づくことができる姿もあり、一つひとつの活動や行事を終えるごとに自信につながり、「次はあれがしたい」「やってみたい」という意欲が見られるようになった。年長児への期待をもてるようにつなげていく。
5 歳 児	☆園生活を楽しみ、見通しを持って過ごしていく中で、基本的な生活習慣や態度を身につける。 ○友だちや保育者、地域の方との関わりの中で、社会に必要な習慣、態度を身につけて行動する。 ○自然や身近な社会事象に興味関心を持ち、豊かな心情や好奇心、探究心を高める。 ○生活の中で言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う大切さ喜びを知る。 ○全身運動がなめらかになり、いろいろなあそび、活動に活発に取り組む。 ○いろいろな活動を通して、様々な表現を楽しみ、意欲的、創造的に取り組み、豊かな感性を養う。	一年を通して、年長児としての自覚をもち、様々な活動に意欲的に取り組む姿がみられた。一日の活動に見通しをもって活動することができるようになり、自分たちで考えながら昼食の用意や次の活動の用意ができるようになった。保育者と一緒に相手の気持ちを考えたりすることで、少しずつ相手の気持ちを聞くようにしたり、子どもたちだけで解決する姿もあった。身近な人に関心を持ち、すすんであいさつをしたり感謝の気持ちを伝える姿もある。一人ひとりの興味や集中などを考慮しながら、一人ひとりが意欲的に取り組みやり遂げることができるよう、活動の内容や援助を工夫し、友だちを意識しながら力を合わせてやり遂げる経験を重ねることで、友だちと一緒に取り組む楽しさを感じ意欲的に園生活を楽しむことができた。

■園務分掌から

○行事

- ・運動会はエフピコアリーナで行ったが、前年度の反省より2・3歳児と4・5歳児で日にちを分けることで時間を短縮し、集合時間にも配慮して計画することができた。2歳児は初めての会場ではあったが、日頃の遊びを設定することで落ち着いて楽しむことができた。天候や暑さを気にすることなく開催できることがよかった。
- ・発表会は、2歳児は園の舞台での発表で慣れた場所でのいつもの取り組みを見たいとすることができた。3歳以上児は、3クラス同時開催で時間的に長いという意見もあったが、他の年齢の発表を見て子どもたちの成長を感じていただくことも大切なことであると考え、保護者への啓発をしていく。
1歳児の発表会は行わず、日頃の保育の一場面を動画で配信した。保護者がいるといつもの様子がみられないという意見が多く、普段の姿をみていただくよい機会となった。
- ・保育参観懇談会は年2回行い、前半は平日、後半は土曜日に行った。平日と土曜日ではそれぞれの時間や場所の設定になるが、保護者の要望も様々なため両方の設定をしている。懇談会の内容や方法など保護者の意見を取り入れながら、たくさんの方に参加していただけるように検討していく。
- ・4・5歳児の鼓笛発表会は、舞台での発表は2回目だったが、去年の反省を生かし、舞台で見えやすい発表の内容を工夫した。平日で短時間の行事ではあるが、終了後の保育
- ・外部の会場を使用するため、日程調整が難しい。土曜日の開催を希望される声も多いが、ご理解ご協力をいただけるよう啓発していく。

○食育

- ・食育の年間指導計画にそって、月1回の食育指導で、その月の目標にあわせて子どもたちに指導している。
栄養士が直接クラスを回って年齢にあわせた内容で指導することで、より専門的でわかりやすい指導内容となり、子どもたちの興味や意識も高まっている。

○誕生日会

- ・クラスで内容を考え、子どもたちの楽しめるものを工夫し、落ち着いて楽しむことができていく。クラスの中でいろんな職員が担当することで、職員の経験にもなっており、いろんな壁面や小物などを工夫することで、より雰囲気盛り上げることができている。
- ・子どもたちの年に1度の特別な一日を、大切にしていこうという意味でも、休んだ子に対する配慮を大切にする。

○避難安全訓練・防犯訓練

- ・幼児棟と本棟に分かれ、様々な設定で訓練をすることができた。また、津波や浸水を想定した避難訓練などいろんな想定や場面での避難訓練を出来る限り行っていく。
- ・いざという時に職員が的確に避難誘導ができるように、職員の役割の意識を再度確認する必要がある。研修を受けたり、危機管理マニュアルに沿って実際の避難を想定して内容を検討し見直していくなど、リーダーの職員がいなくても判断し誘導ができるよう、全職員への意識統一をしていく。

○安全指導・安全点検

- ・月1回の安全点検を、各クラスで行っている。子どもたちの安全を第一に考え、危険な個所に気づける意識が大切である。形式的にならないよう、確実に点検を行っていくとともに、気づいたときに即対応し対策をとるようすることで、事故を防ぐという意識をもつ。

- ・安全指導は、遊具の使い方や園庭で遊ぶ時のルールなどを職員間で確認し、だれでも同じように指導できるようにすることが必要である。散歩の際のルートの見直しや危険場所の把握と共有なども定期的に行っていく。また、子どもへの安全指導も計画的に行えるよう取り組んでいく。

○水遊び・夏季プール

- ・週に2回のプール遊びができるよう計画した。監視を確実につけるためには職員体制も関係してくるため、安全のため無理をしてプールをすることがないように、職員間で統一した。年々暑さが厳しくなっているので、熱中症に気を付け、時間を短くする対策をしたり、場合によっては中止にすることも必要であり、安全を重視した活動ができるよう徹底した。
- ・機会が限られるが、遊びの内容を工夫して、年齢に合わせて夏ならではの遊びを楽しめるようにしていく。

○飼育栽培

- ・玉ネギやじゃがいも、さつまいもなど、季節ごとに自分たちで収穫し、それを給食で味わうという経験が、子どもたちの食事への意欲につながっている。また、プランターでの野菜栽培は、登降園の時に保護者と子どもが毎日見たり、野菜の生長を細かく見つけたりと季節を感じながら学びの場になっている。実際に自分たちで水やりや草取りなどの世話をする経験も取り入れていく。

○保育内容

- ・各クラスで、子どもの姿や季節にあわせて、計画的に様々な活動を計画し楽しんでいる。部屋や園庭も保育計画に合わせてクラス同士で話し合い調整するようにしている。
- ・どのクラスも、子どもが主体的に遊びに取り組める環境を大切にしたい保育をすすめていけるよう工夫する。そのためにも、外部研修を受けたり、園内研修をしていく必要がある。

○施設・整備

- ・日頃から掃除や整理整頓を心掛け、気持ちよい環境で過ごせるように心がけている。なかなか行き届かないところがあるので、声をかけあって安全に過ごせる環境づくりを心掛ける。園庭や花壇の整備も職員がすすんで取り組んでいけるようにしていく。
- ・ネット環境の整備がすすんだことで、パソコン関係の事務の時間が短縮されている。キッズビューの導入により新しい取り組みも多いが、保護者の理解と協力をいただきながら、来年度からは連絡帳やおたより、日々の掲示も全てキッズビューで配信するよう啓発や準備を行っていく。

○園外研修

- ・キャリアアップ研修を含め様々な分野の研修を全職員に案内し、興味のある研修にすすんで参加するよう全職員に啓発している。重要な研修は、機会を分けて全職員が受けるようにするなど、いつでも受けられるウェブ研修を有効活用し、研修を深めていきたい。

○園内研修

- ・1年に1度は、全職員対象の研修をもつようにしているが、休日保育や延長保育があり、全員は難しい状況がある。そのため、複数回に分けて行い、全員が参加できるようにしている。
- ・職員間で必要な研修を計画したり、ウェブ研修を園内研修として全員が受けるように取り組んだ。同じ研修を聞くことで、大切にしなければならないことを全職員で共有することができた。必要な研修を計画的にできるよう研修計画を立てていくとともに、研修の内容が日々の保育に活かされていくための研修も必要がある。

○個人懇談

- ・懇談の希望を取り、希望があった方すべてに対応して懇談をもった。また希望がなくても担任が必要と判断した場合は、個別に声をかけて懇談の場を設け、園と家庭での様子を伝え合い共通理解することができた。
- ・日々の送迎の際のやりとりの中でも、しっかりと保護者と連携が取れるように意識していく。

○各クラスのコミュニケーション

- ・月1回の会議や毎日の昼礼の際、各クラスの個の取り組みや保護者の状況、怪我などのインシデント事例などを報告し合い、情報共有をしている。
- ・週案を一覧に記入することで、他のクラスの保育内容を知り、園庭や保育室の使い方をクラス同士で調整するようにしている。
- ・お昼寝のないクラスや、職員の勤務時間帯が様々で集まりにくいクラスなど、クラスによっては職員同士の話し合いの時間を設定して、話し合いができるようにしている。
- ・3歳以上のクラスは、行事への取り組みに多くの時間を要している状況があり、担任も忙しいというイメージがある。自分のクラスだけでなく全体のことを考えていけるよう、他のクラスへの気配りを大切にしていきたい。
- ・携帯を整備したことで、ラインを使った連絡で、職員間の連絡が早くできるようになった。有効に使える方法を検討していく。
- ・毎日短時間でも、各クラスでの振り返りの時間をもち、保育内容や子どもとのかかわり方などを話し合い、職員

間の意思の疎通や意識統一を図るようにしている。

○職員会議など

- ・毎日昼礼で、日々の出来事や行事のこと、感染症や事故・怪我の共有をしている。
- ・月に1回の所内人権研修は、リーダーが出席するような形になっているが、可能な限り短時間でもいろんな職員が参加するようにし、園内のことにみんなが共通意識をもっていけるようにしていくことが必要。
- ・勤務形態が多様で、常に保育があるため、全員が集まることは難しいが、必要に応じて、リーダー会議をもったり、時間を分けて全員が参加するようにするなど、これからも工夫しながら職員の意識統一を図っていく。
- ・代表者の出席なので、会議の内容を伝達することで、職員間での共有ができるよう、伝達方法を見直し確実に伝わるしくみづくりをしていく必要がある。
- ・月1回衛生委員会で、園内の勤務体制や職員の体調管理などを共有しあい、安全に快適に業務ができるよう情報共有や意見交換、改善策の提案などを行っている。

■保護者による学校評価

2024年3月7日～3月17日（全保護者）キッズビューアンケート機能にて回答
園児数295名（家庭数218件） アンケート提出数211件 回答率96.8%

せんにしの丘学校評価アンケート

評価 A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: 思わない E: 分からない

	アンケート内容	評価				
		A	B	C	D	E
1	子どもは、園生活を楽しんでいると感じて通園し、意欲的に活動に参加している。	169	39	1	0	2
2	子どもは、園で十分に遊んだり、運動している。成長を感じられる。	186	19	5	0	1
3	子どもは、園の出来事、先生や友だちの話をしている。（人間関係が築けている）	150	36	5	2	18
4	子どもは、給食やおやつをおいしく食べている。楽しく食事ができている。	164	34	4	0	9
5	子どもは、あそびと休息などでリズムある生活ができている。	175	33	3	0	0
6	子どもは、身辺自立に向けた行動ができる。	148	52	5	0	6
7	職員は、明るく接し、適切な言葉遣いや電話対応ができている。	183	26	2	0	0
8	職員は、保護者との信頼関係ができ、コミュニケーションがとれている。	166	42	2	0	1
9	職員は、人権を大切にし、子どもをよく理解し、誠実に対応している。	182	26	2	0	1
10	職員は、教育・保育の指導方法や内容を工夫している。	182	23	0	0	6
11	職員は、園での子どもの様子や連絡事項を適切におこなっている。	171	35	1	2	2
12	園は、自然や社会とかかわりをもてるような体験を取り入れている。	169	33	2	1	6
13	園は、年齢の異なる園児がふれあえるような機会をもっている。	116	58	12	1	24
14	園は、保護者の子育てについての必要な面談や支援を行っている。	150	43	6	0	12
15	園は、地震・火災・不審者から子どもが守られるように努力している。	175	28	1	0	7
16	園は、施設の安全点検、衛生管理を行っている。	146	43	2	1	19
17	園は、早朝保育や延長保育など少人数での保育を適切に行っている、	147	22	0	0	42
18	園は、だよりやセコムメール等で情報を分かりやすく伝えている。	169	38	3	0	1
19	園は、保育ICTなど情報共有の利便性の向上を図っている。	159	29	1	1	21
20	園は、保育参観や懇談を通じて、園の状況や家庭での育ちを共有している。	166	41	0	1	3
21	園の、全般的な行事の回数や時期・内容は適切である。	153	43	5	1	9
22	園の、運動会の時期・内容は適当である。	152	25	4	0	30
23	園の、発表会の時期・内容は適当である。	152	26	5	0	28
24	園の、参観日や懇談の時期・回数・内容は適当である。	156	44	4	1	6
25	園の、せんにしまつりの時期・内容は適当である。	142	30	3	1	35

○アンケートの気付きより（自由記述）

感想	・こちらに入園できて本当に良かったと日々感じております。いつもありがとうございます。 ・先生方が子供に優しく接してくださり、保育園楽しかった？ときくといつも、うん！と答えます。保護者にもいつでも困りごとがあれば相談してくださいと言ってくださるのでとても助かっています。 ・毎日子供の事をよくみていただいております。特に、○○先生は園での様子を伝えてくれる際に悪い事だけではなくこんな事が出来る様になった、とか お友達とこういうやりとりをしていた、など伝えてくださるので愛情を持って接していただいているのが伝わり安心して預けれるし子供も本当に心を許しているのが分かります。最後の保育園生活も○○先生と過ごせると子供も保護者の私も嬉しいです。 ・こちらの保育園には、絶大な信頼を寄せています。我が子は、とにかくやんちゃで激しくて、落ち着きがないので、昔の時代の教育方針だと、毎日怒られていたかと思えます。でも、保育の仕方でもアップデートされてるようで、本人の気持ちに寄り添った指導をしてくださるおかげで、ダメなことはダメと理解させつつ、好奇心や探究心、本人の気持ちをとても大切にしてくれているので、本人は保育園も先生も大好きで、親としては本当に有り難く思っています。これから、様々な先生やお友達とで出会って人間関係を築きながら色々な壁にぶつかるとは思いますが、しっかり成長できるいい環境だと感じています。 - また、どの先生も保育に対する意見をしっかりと持っていらっしゃることや、先生同士の連携もしっかり取れているように感じ、そちらも信頼できるポイントです。 - そして、個人的な意見としては、親が参加できる行事がもっとあっても嬉しいな—と思いつつ、自分も含め、働いてる親御さんばかりなので難しい面もあると思うので、これは本当にただの個人的な気持ちです。笑 - アンケートとなると、上から目線のような書き方になってしまっていますが、頭が上がりなくらい感謝してます。今後ともよろしく願いいたします。 ・補聴器などの装具をつけたの受け入れをしていただけた事、補聴器や人工内耳など些細な事で外れたら直して下さったり、お昼寝時は外し、起きたらつけたりと手間がかかる作業もして下さり、先生方には本当に感謝しかありません。 ・いつもありがとうございます。子供達も楽しそうに登園しており、安心してお願いできます。来年度も引き続きよろしくお願い致します。 ・いつもありがとうございます。 ・いつも息子の良さを認めてくださり感謝しております。わたし自身親に対しても優しく接してくださり励みになっていました。本当に1年間ありがとうございます。 ・お歌が一曲歌えるようになっていたり、少しずつ身の回りのことを自分でやり始めたり日々子供の成長が感じられ良い刺激になっていると思います。家でもよく先生やお友達の名前を口にしていまして楽しそうにしています。いつも保育をして頂きありがとうございます。 ・先生が凄くいいと思う。これからもよろしくお願いします。 ・先生が頑張ってくださりすぎて心配になるレベルです。いつもありがとうございます。 ・家庭では経験できないことを園でさせてもらって、先生方のおかげで子どもも成長させてもらっていると感じています。いつもありがとうございます。 ・先生方には、感謝しかありません。息子の事をよく見て頂き、アドバイスや日頃の様子を教えて頂いてます。先生がたくさんいらっしゃるの、名前を覚えてなくて、いつも、先生、とお呼びしてしまい、申し訳ないです。来年度もよろしくお願いします。 ・子供が笑顔で行ってきますと行って、楽しかったと帰ってきてくれて、安心して預けられる施設で、保護者共々仕事ができる環境に本当に感謝しています。できる限りの協力をさせて頂きながら、大変な事が多いと思いますが今後もよろしくお願いします。上園舎の扉の鍵が開け閉めしやすいものになってくれたのが助かります！ ・いつもありがとうございます。新しい学年でもよろしくお願い致します。 ・困った事があった際も、送迎時やお帳面で相談できて、育児の孤独さも軽減されて非常に助かっています。私でも見落としとして入る体調の変化などにも気づいてくれて、早期対応ができてありがたいです。いつもありがとうございます。 ・いつもありがとうございます！ ・1年間ありがとうございます。細かな変化にも気づいて下さっていることがとても分かり1人1人しっかりとかわわってくれている事がいつも伝わって来ます。 ・いつも子どもや私たち親にも明るく丁寧に接してくださるので、大変有り難いです。 ・いつも○○を見てくださりありがとうございます。日中の様子や、体調の変化など、細かに教えてくれるので、早めの受診ができありがたいです。安心して仕事することができています。これからもよろしくお願いします。 ・いつも感謝しております ・いつもお世話になり大変有難く思っています。英語指導や体操指導など、日々様々な教育活動を計画されておりとても充実した園生活を送れていると思います。
気付き提案	・門の取手の反対側に出っ張りがある、それが子どもの顔付近に当たりそうで危ない気がします。 ・最近、送迎用駐車場の真ん中を通る人が多いので危ないです。横断禁止の標識をつけるなど、もっと周知してもらえる何か対策があればいいなと思いました。 ・いつも子供達のことを思っているの保育感謝しております。長女が入園してから10年色々変わったところもありますが、良い方向での変化ばかりだと思えます。発表会でくじらさんがオペレッタをしない事は少し残念だなあ？きつというかさきよりもっと素敵なお劇が見れるんじゃないのかなあと思ってます。 ・土曜日保育を利用する際に階段に登る前のところで今日はどこの部屋で過ごすのか分かったり、アプリなどで事前に分かたりするなどでできたらありがたいです。 ・行事が少ないのが少し寂しいです。 ・連絡帳の内容が他の子と一言一句同じでコピペしているのがわかりました。やったことの報告はわかるのですがそのことに対してどういう反応をしていたのか連絡帳では知りたいたいです。 ・お迎え時のラッコ組さんの子供達の部屋について、ぎゅうぎゅうに詰め込まれておりもう少し広いところでも良いのではと思います。 ・いるか、くじら組でのお昼寝の時間が長く、登園を嫌がったり夜なかなか眠れない時期がありました。子どもはもっと外で遊ぶ日、時間が欲しかったみたいです。でも、全体的に楽しく通ってくれたので、良かったです。ありがとうございました。 ・雲梯や登り棒等の遊具を導入して欲しいです。 ・参観日、行事が少ないと思います。運動会や発表会は小さいクラスでも開催してほしいです ・布団を持ち帰る時、いつも髪の毛やゴミが沢山ついてるのが気になります。もっと床掃除してほしいです。 ・個人情報取り扱いについては杜撰だと思います。しっかりした取り扱いをしてほしい。職員の個人情報の管理の意識が低すぎる。それに対しての対応も納得できるような対応をしてほしい。 ・先生方にはとても良くしてもらって感謝しております。以前、少しの間だけあったように配布されるプリント類をできたらこちらで配信していただいた方が管理しやすいなと感じています。

	・クラス担任の先生が年度途中から不在のようでした。声掛け程度で構わないのでお知らせがあったらよかったなあと感じました。 ・今後お帳面の記入がなくなるにあたって、発育計測の記録を、卒園後でも見直せる何かがあるととても助かるなと思います。（小学校2年生で、生い立ちを聞かれる授業の時に、○歳の身長など年齢ごとに詳しく聞かれ、お帳面に助けられたので） ・連絡事項や物品購入など詳しく内容が知りたいです準備物や重要時効は事前にわかりやすく別途表示して欲しいです ・園でどう過ごしているのか、もう少し知りたいです。 ・親子参加型のイベントが少なくて少し寂しいです？ ・せんにまつりなど、行事で親子参加を増やして欲しいです ・コロナ前のように毎年の親子遠足や誕生日会親参加が戻れば嬉しいです コロナ禍での園生活 感染対策や工夫を凝らしての行事などいつも最善を尽くしてくださりありがとうございました。せんにしの丘に通うことができて本当に良かったなと思います。残りわずかですがどうぞ宜しくお願い致します ・保育の ICT 化が遅れていると感じることが多々あります。他の園では、かなり前からアプリで写真付きで1日の様子が確認できたのに、当園ではその部分だけが未だに紙に印刷して貼り出されています。プリントだと写真が粗く、また、並んでいる保護者もいるため、じっくり見ることはできません。少しずつ ICT 化が進んでいるようで、先生からのメッセージも手書きからデジタルに変わりましたが、逆にそのことで様子が伝わりにくくなったように感じています。同じような内容が他の子どもたちにも書かれているような気がしていて、もしそうなら先生の負担を減らすためにも、なくしてしまった方が良いのではないかと思います。もうすぐ卒園しますが、やはり写真の公開をもっと早い段階でしてほしいと思っています。 ・キッズビューのアプリでできるようになったら嬉しいもの。 ①プールを受ける受けないや体温記入②給食レシピの掲載（家でも美味しい給食を作りたい）こども園では、外部の先生の指導が受けられたり、スイミングや英語など希望者には、親の送迎の負担なく受けられてありがたかったです。ありがとうございました。小学校に上がっても、学童クラブを利用させていただくので、スイミングや英語のレッスンを続けて受けれる環境があれば嬉しかったです。また、長期休みや土曜日など1日利用の時の弁当持ちは、給食の推奨していただけるとありがたいです。「給食をやむを得ずご利用される方はお申し出下さい」という表記なので、利用したいが頼みにくい。全国的にも、学童の弁当持ちは、親の負担が大きいなど取り上げられており、委託弁当などを行っているところもあるので、ぜひ、給食を推奨して欲しいです。お友達はみんな弁当なのに、自分の子供だけ給食というのも可哀想な気がする母心もあります。宜しくお願いいたします。 また、卒園児招待日（ぶち同窓会）みたいなのがあったら、きっと子どもは嬉しいと思います。卒園して他の学校へ通うお友達とは、なかなか遊ぶ機会は持てないので、年に1度でも良いので会える日があると良いなあと感じています。宜しくお願いします。
--	--

○アンケート 結果より

キッズビューを利用して、全保護者を対象に匿名でアンケートを実施した。96.8%とほとんどの方に回答をいただき、感想や気づきなど様々な意見を聞くことができた。前年度、新しい行事の持ち方に対しての意見も多く、今年度はできるだけ改善をして行った。更に検討が必要などころもあるが、園の目的や理由などを啓発しながら、理解がもらえるように引き続き検討していきたい。

保育者の子どもへの関わりや保護者との関わり、子どもの園での姿の伝え方、環境など、様々な視点から意見をいただいている。全職員がよりよい対応ができるよう、よりよい環境を整えていけるよう、今後も研修などを取り入れながら取り組んでいくことが必要と感じた。

来年度から全面的に連絡帳やおたより類がICT化するようになるため、ICTへの意見も聞きながら進めていきたい。

せんにしの丘は、様々な事業をしており、家庭や仕事の状況が異なる多様な利用者が来られる中、求められるものも多様である。そんな中、園の方針や行事の持ち方についていろんな意見があると思うが、一つひとつしっかり説明をして理解をしていただきながらすすめていくことを大切にしていきたい。保護者の皆様に、園の活動や取り組みを知り関心をもっていただくことで、子どもの成長と一緒に見守っていけるよう、引き続き行事や日々の情報発信やコミュニケーションを見直しながら大切にしていきたい。